

令和2年度事業報告

1-1 概況

まさにコロナ感染に翻弄された一年であった。

4月の入学式の中止に始まり、緊急事態宣言の発動による休校処置、引き続いてのオンライン授業、感染予防対策と、コロナ禍への対応が続いた。特にその影響は昨年まで学生の1/3を占めていた留学生募集に大きな影響を及ぼし、入学生数は前年比で50%を下回る結果となった。一方、日本人入学生については、県外への流出を押しとどめるという結果となり、総数としては前年並みの入学生を確保することができた。このコロナ禍をマイナス要因だけとすることなく、それにより培われた新しいスキル、トレンドを踏まえた学園運営も期待されるところである。

1-2 基本方針

誠実・明朗・進取を校訓とし、地域発展の中核となる高度な専門的知識・技能を備え、かつ豊かな人間性と社会人としての教養を身につけた人材を育成する。

1-3 教育における重点事項

専門分野の知識と技術の習得・専門能力と実践力を証明する高資格の取得・資格取得への努力、自発的取組による自主性の涵養・幅広い視野とコミュニケーション能力を持つ豊かな人間性の形成・社会人にふさわしい礼節、マナーの育成と、留学生の日本語力向上と日本の文化・習慣を身に付けることに重点をおいた。

1-4 学科・コースの再編・充実

外部の有識者を交えてカリキュラム編成委員会を2回実施し、いただいたご意見を基に教育内容の追加変更について反映させた。

学生定員を見直し、それぞれの科における実情に合った定員とした。それにより令和3年度入学生については定員充足率が87%となった。

1-5 学生の募集活動について

・令和3年度日本人入学生合計65名（昨年63名 ※国際ビジネス科、日本語科を除く）
コロナ禍により大都市圏への進学が減少し、長野県内に進学するという学生が増える傾向はあったが、全体としては前年並みの入学者となった。国際ビジネス科留学生は、日本語学校の留年処置と、大学・他専門学校との競合状態が激化し大きな減員となった。日本語科留学生については、コロナ感染対策による入国規制により4月生が入国できずに、10月生として入学し、全体としてR2年度生は9名（R元年度生14名）と大きく減員となった。広報全般を総括的に担当する専任者が県内及び上越の高校訪問を行った。

オープンキャンパス

コロナ禍により、内容・時間・設営共に縮小を余儀なくされた。年度初頭の4～5月においては中止としたが、その後、人数制限をしての開催や、オンラインオープンキャンパスや、社会人対象、保護者対象など対象別による分散開催など様々な工夫を行った結果、参加人数は昨年比102%と微増させることができた。

6月13日以降オープンキャンパス10回開催 ※3～5月を中止
延べ159名が参加（昨年度比102%）

校内ガイダンス及び会場ガイダンス

校内ガイダンス 21回 会場ガイダンス 3回参加 ※コロナ禍による中止
学校案内パンフレット・ホームページ及び各科リーフレット

2021版パンフレット 3,200部作成 資料請求数 911 (昨年比 99.8%)

※新規広報活動

LINEによるOC参加者とのコミュニケーションの実施、ホームページリニュアル

1-6 主な資格取得実績

歯科衛生士国家資格 100%合格・医薬品登録販売者資格 100%合格 ※全国合格率 40%

1人あたり資格・検定平均取得数 8.9 ※歯科衛生士科・国際ビジネス科除く

1-7 学生の就職について

学内就職ガイダンス キックオフセミナー、保護者対象説明会ほか、各種セミナーはコロナ感染者数の狭間に当たり開催することができた。

学外就職ガイダンスは押しなべて中止あるいはオンライン開催となり、就職活動への影響が懸念されたが、ほぼ例年並みの就職率を維持することができた。

就職内定状況

歯科衛生士科・医薬サポート科 100%

ICTシステム・デザイン科 80%

国際ビジネス科 90%

1-8 地域貢献活動

地域中学校へのキャリア教育出前授業・いきいき生涯学習(9月・2月)を行った。

他のボランティア活動はコロナ禍により、実施件数は大きく減少した。

1-9 教職員の能力向上

研修会参加実績

研修等はほぼすべてがオンライン研修となったが、各科毎に様々なセミナー・研修会に参加し、教員の専門能力のアップに努めている。

資格取得支援制度利用件数 2件

1-10 留学生の動向

入国管理局審査の厳格化による日本語を学ぶ学生数の減少に加え、コロナ禍による入国規制により日本語学校運営は危機に瀕している状況と言っても過言でない。令和3年度の日本語科入学生の入国も目処がつかない状況である。しかしながら、日本における外国人労働者・インバウンド観光客への依存度は確実に存在しているのも事実であり、コロナ収束後を見据えた留学生対象学科の運営を進める必要がある。このコロナ禍にあっても、卒業生の90%を就職させることができた国際ビジネス科の就職率は、留学生に対しての市場ニーズは決して冷えていないことを表している。

2 在学生数

令和2年度在学生数（令和2年4月1日現在）

	1 学年	2 学年	3 学年	合計
ICT システム・デザイン科	25	16	-	41
医薬サポート科	12	11	-	23
歯科衛生士科	26	15	16	57
国際ビジネス科	23	26	-	49
日本語科	0	14	-	14
合計	86	82	16	184

内職業訓練生 9

3 募集状況

令和3年度入学者数（令和3年3月31日現在） 昨年対比

ICT システム・デザイン科	23	内訓練生 3	-2 名
医薬サポート科	18		+6 名
歯科衛生士科	24		-2 名
国際ビジネス科	11		-12 名
日本語科	未定		
合計	76		-9 名

4 就職状況

就職（進学）状況（令和3年4月22日現在）

	卒業者	就職希望	就職者	進学他	就職率
ICT システム・デザイン科	15	14	12	0	85.7%
医薬サポート科	11	10	10	1	100%
歯科衛生士科	16	16	16	0	100%
国際ビジネス科	25	21	19	4	90.5%
日本語科	13	0	0	13	100%
合計	80	61	57	18	93.4%

5 役員会

令和2年 5月29日 令和2年度第一回評議員会・理事会

令和3年 3月26日 令和2年度第二回評議員会・理事会

以上